

大学教育開発センター



大学教育開発センターは、本学における教育の質的向上を図るために、全学共通科目の企画・運営、学士課程教育全体の点検・評価・改善の取組、教職員の能力向上のためのプログラム企画・運営を行っています。

上記の目的を果たすべく、センターには、全学共通教育の企画・運営を担う共通教育部、学士課程教育の点検・評価・改善（教職員の能力向上に関わる企画・運営を含む）を役割とする調査研究部、及び外国語教育のカリキュラムや授業方法の開発・提案、外国語コミュニケーション能力育成のための教材開発を役割とする外国語教育部が置かれています。

アドミッションセンター

アドミッションセンターは、更なる少子化を迎えるにあたり、地域ニーズに配慮した多様な判定基準に基づく入試方法の開発を目指すとともに、効率的な入試体制を構築するための調査研究を行うため平成17(2005)年4月に設置されました。さらに、新たな受験生の獲得に向けた戦略的な入試広報活動を展開するための入試広報の中心組織としての役割を担う部署としても機能しています。その一環として、平成21(2009)年4月から関西地区における入試広報の強化のため「サテライトオフィス大阪」に特命助教1名を配置しました。

当センターは、アドミッションポリシーに応じた志願者確保ならびに入学者選抜を実施するため、以下の業務を実施しています。

- ① 入試に関する調査・研究(入学者選抜方法等の改善のための活動)
- ② 戦略的な入試広報の企画・立案・実施(入学者の質的・量的向上のための活動)
- ③ 各学部に対する入試状況等の説明並びに募集戦略と選抜方法等の提言(学部の入学者選抜・広報活動等の支援活動)



キャリア支援センター



キャリア支援センターは、在学期間を通じて、生き方・進路・職業選択を考えながら、人生の目標を持って学生生活を送ることができるよう支援していくこと、及び、希望する進路を実現できるように、学生への就職支援を充実させていくことを目的として、平成18年4月に設置されました。

主な業務は、(1)キャリア教育の企画・実施に関すること、(2)就職支援事業の企画・実施に関すること、(3)インターシップの企画・実施に関すること、(4)就職相談に関すること、(5)キャリア支援に係る学部、研究科等との連絡調整及び支援に関すること、等です。

生涯学習教育研究センター



生涯学習教育研究センターは、大学公開講座、高等教育レベルの生涯学習に関する研究・調査、地域社会における生涯学習指導者の養成・教育、生涯学習に関する情報の提供・相談を行う施設です。

本センターの前身である大学教育開放センターは、本学の研究・教育活動を地域社会に開放するため1978年に設置されました。そして1991年、大学教育開放センターは、地域住民及び地域社会の生涯学習要求の高まりに対応するため、生涯学習教育研究センターに改組されました。

本センターは、毎年、文学、文化、芸術、スポーツ、教育、法学、経済学、医学、工学、農学等の多様な分野にわたる約40の公開講座を行うとともに、地域社会及び大学における生涯学習のあり方に関する研究・調査の成果を、毎年度発行する『香川大学生涯学習教育研究センター報告』を通して公表しています。本センターは、こうした活動を通して本学の研究・教育の成果を地域社会に開放する上で重要な役割を果たしています。

研究戦略室



研究戦略室は、本学における研究水準の向上及び特色ある研究を推進するための組織です。ここに学内外の研究者等から構成される研究戦略会議を設置し、先導的・中核的な研究（リーディングリサーチ）の推進、研究推進戦略の審議、国内外の研究情報の収集や分析、各種研究プログラムへの申請支援を行っています。今後、リサーチアドミニストレーターも配置することとしており、本学研究者の研究活動をさらにサポートしていきます。

※リサーチアドミニストレーターとは、大学等において、研究者とともに研究活動の企画・マネジメント、研究成果活用促進を行うことにより、研究者の研究活動の活性化や研究開発マネジメントの強化等を支える業務に従事するスタッフです。

総合生命科学研究センター

総合生命科学研究センターは、香川大学における生命科学分野の教育・研究の推進、およびその研究支援を行うことを目的に、2007年4月に設置されました。センターは、以下の部門からなり、教職員は、医学部キャンパスおよび農学部キャンパスで教育・研究、および研究支援活動を行っています。

遺伝子研究部門 ゲノム情報科学や高等植物の遺伝子を使った研究・教育を行うとともに、遺伝子実験に関する研究支援を行っています。

分子構造解析研究部門 タンパク質等の生体高分子の3次元構造を決定し、構造と機能との相関について研究を行っています。

実験実習機器部門 共同利用実験機器を維持管理し、高度分析装置の使用に関する研究支援を行っています。

動物実験部門 動物実験施設を管理運営し、実験動物の飼育管理、系統維持等、動物実験に関する研究支援を行っています。

放射性同位元素実験部門(医学部地区および農学部地区)
放射性同位元素実験施設を管理運営し、放射性同位元素実験の教育・研究支援を行っています。

糖鎖機能解析研究部門
糖質バイオクラスターの一環として糖鎖に関する研究を創出し、展開しています。



希少糖研究センター



希少糖研究センターは、生産方法、生理機能、用途などの研究がほとんど進んでいない「希少糖」に関する独自の研究を発展させるとともに、外部機関等との共同研究を推進することにより、地域の科学技術の発展と産業の振興に寄与し、希少糖に関する情報の収集・発信及び教育研究の充実に資するため、平成15年10月の旧香川大学と旧香川医科大学の統合時に省令施設として設置されました。生産と機能解析で世界の希少糖研究をリードする研究センターとなっています。

地域における産学官の連携した研究を実施し、国際希少糖学会と連携することで希少糖に関する情報を世界に発信・受信すると同時に国際共同研究を積極的に進めています。また、応用面では、希少糖を用いた食品や医薬品、農薬の開発が進んでいます。

微細構造デバイス統合研究センター

微細構造デバイス統合研究センターは、平成17年4月に設置されました。本センターは、工学部がこれまで取り組んできた「マイクロ・ナノマシン技術」をベースに、これらを統合化することによって、今後、成長が期待されていますが、IT、バイオ分野を中心としたデバイスの開発を目指しています。

本技術内容としては、チタン合金という強靱な材料とその加工などを応用した超精密金型・成型技術や、光を用いてパターンを形成することによりシリコンを深く加工する技術などの超微細加工技術があります。

農学部や医学部等との学内連携はもとより、他大学や各種研究機関との共同研究などを通じ、これらの複合した領域におけるバイオメカ等の新しい研究を展開して、新たな学際的研究分野を切り拓いていきます。また、産学連携についても積極的に取り組み、要望されるものを実現するという立場で、特に地元企業を中心に技術移転や実用化開発に向けた支援を行い、地域の産業振興に貢献します。さらに、人材育成の場も提供し、学生を研究活動に参画させて先端分野における研究やモノづくりを体験させることで、世界に通用する人材の輩出を行います。



瀬戸内圏研究センター

瀬戸内圏研究センターは、瀬戸内圏の諸課題を解決するべく調査・研究を行い、その成果を地域社会に還元させ、地域の活性化を図るとともに、地域の財産である瀬戸内圏が育んできたその風土や豊かな環境を保全・継承させることを目的として、平成21年3月1日付けで設置されました。本センターは、瀬戸内圏に関する「知の総合拠点」となることを目指し、

- (1) 瀬戸内圏研究の推進
 - (2) 瀬戸内圏研究に関する情報の収集及び発信
 - (3) 瀬戸内圏研究に関する研究成果の公開
- などを行っています。



総合情報センター

総合情報センターは、香川大学の学内共同利用施設の一つとして、学内情報基盤を担当すると共に、先進的な研究・教育拠点として大学と地域社会に貢献することを目指しています。

センターは学内外・キャンパス間・附属施設間などを繋ぐネットワークの整備、管理を通じて、教育研究、大学運営、遠隔講義・会議、地域情報サービス等を支援する有線LANおよび無線LAN環境を提供しています。また、仮想化サーバなどを設置し情報サービスを直接ユーザに届けると同時に、各種サービスを可能とする基盤構築や運用支援を担当しています。各キャンパスのPC演習室には、総計500台以上の教育用PCシステムを設置し、全学における情報教育での活用をサポートしています。ICカードプリンタ導入によりエコロジーを考慮した計算環境を実現し、学生電子メールサービス外部委託により生涯利用も可能な優れたユーザ環境を準備しています。



社会連携・知的財産センター



社会連携・知的財産センターは、大学と地域企業等との共同研究を促進するため、また知的財産を有効に活用した社会貢献を促進するため、旧地域開発共同研究センターと旧知的財産活用本部の統合により、平成20年4月に設置されました。

センターの主な業務は、

- (1) 民間企業等との共同研究又は受託研究の振興
- (2) 民間企業等に対する研究開発等の技術相談、技術交流等の支援
- (3) 民間企業等への学術情報の提供
- (4) 知的財産の創出・権利化・維持管理
- (5) 知的財産の活用による産学官連携の推進
- (6) 特許権等の実施許諾
- (7) 事業化しうる研究成果の発掘・評価・選別 等です。

危機管理研究センター

危機管理研究センターでは、地震、津波、高潮、河川氾濫等の自然災害及びテロ、事故や犯罪等による人為災害から人々の生命や財産を守り、地域社会の安全・安心を確保するための技術開発を行っています。又、その技術を活用して地域の行政機関や企業等と連携して、地域の防災力・危機管理能力の向上を図ることを目指します。更に、これらの活動を通して香川大学が地域防災・危機管理の研究拠点として、地域の安全・安心の確保に貢献すると共に、優れた人材育成の場を提供することを目指します。本センターは「教育研究部門」と「地域連携部門」の2部門で構成され、地域の行政機関や民間企業等と協力して、地域の安全・安心に関する8つの研究プロジェクトを実施しています。

- | | | |
|--------|------------------|--------------|
| 教育研究部門 | ①セキュリティ科学研究 | ②健康危機管理研究 |
| | ③災害デジタルアーカイブ研究 | ④防災コンピテンシー研究 |
| 地域連携部門 | ⑤災害時緊急対応 | ⑥リスクアセスメント研究 |
| | ⑦業務継続計画(BCP)策定支援 | ⑧防災研究拠点形成 |

